

あまきずな

ご存じですか？ 漏電ブレーカーの復旧の仕方！

漏電ブレーカーは、その名の通り電気回路に漏電が起こった場合、感電や火災などの事故にならないように、自動的に回路を切る役目を持っています。このように故障が原因で自動的にブレーカーが切れることを、「トリップ」と言います。

電気を使っているときに、突然ブレーカーが切れて停電になったことはありませんか？ その原因の多くは、電気の使いすぎによるブレーカーのトリップか、漏電などの原因による漏電ブレーカーのトリップです。



漏電ブレーカー 全体



ブレーカーがトリップした時のハンドルの位置は、“入”の位置でもなく“切”の位置でもない、“中間”の位置にあります。一見、“入”っているように見えますが、他のブレーカーと見比べればハンドルが“少し違った”位置にあることに気づくと思います。

ちょっと変だな？ と思うブレーカーを見つけたら、ブレーカーのハンドルを親指と人差し指でつまむようにして、動かしてみてください。他のブレーカーに比べて、ぐらぐらしていたら、そのブレーカーがトリップしています。

- トリップしているブレーカーは、そのまま入れようとしても入りません。一旦、“切”の位置にして、それから入れると入ります。

掲示して、ご利用下さい。



一般
社団
法人

九州電気管理技術者協会